



国際ロータリー 第2550地区



宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 細谷 俊夫 幹 事 伴

誠

会報・雑誌委員長 床井 光雄

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3079号 2025年2月4日(晴れ) 第29回例会 会員数100名

ハイブリッド例会

点 鐘 細谷会長
司 会 副SAA 飯村会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

◇本日のランチ スープ 海の幸ホイル包み オー
ジービーフロースグリル サラダ デザート盛合せ
御飯 コーヒー

ビジター紹介 片嶋副会長

◇卓話講師 宇都宮市長 佐藤栄一様(名誉会員)
随 行 秘書課 星 貴様

会長挨拶 細谷俊夫会長

皆さん、こんにちは。昨日は立春でした。暦の上では春の始まりですが、まだまだ寒い日が続きますので、健康に気を付けてお過ごしください。また、ロータリーでは、今月は平和構築と紛争予防月間です。今日、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は約7000万人です。またその半数が子どもです。このような状況を私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて、平和な世界づくりを促進しています。平和な環境をつくるロータリー。平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。ロー

タリーは、新たな課題に応えるために、平和構築へのコミットメントを高めています。ロータリーが未来にインパクトをもたらすには何ができるか、持続可能な変化を目指すロータリーのビジョン声明をどのように実現できるか、といった課題に取り組むべく、ロータリーは「平和構築」の定義をさらに広げ、より多くの人々が平和構築に参加できる方法を見つけることで、団結と幅広い参画による平和という概念に基づくアプローチを取っています。ロータリーは、平和が可能となる環境を築いています。皆さんも、平和のために何ができるか、考えてみましょう。

本日の卓話は、当東ロータリークラブの名誉会員でもある、宇都宮市長の佐藤栄一様を迎えております。昨秋6選をはたされて、豊富な経験を踏まえた市政運営を行っております。佐藤市長本日の卓話、よろしくお願ひします。

◇(R) 米山記念奨学会より表彰

<米山功労者>

マルチプル 辻 裕司会員(9回目)

◇ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)

パートI・II・IIIの修了書の授与

細谷俊夫会員、田崎信孝会員、金子 剛会員



幹事報告

伴幹事

◇ロータリーレート 2月は1ドル154円。

◇来週2月11日(火)は祝日休会。

◇2月13日(木)18時30分~ ホテルニューイ
タヤにて 細谷年度第8回定例理事会開催。◇R日本財団とR米山記念奨学会より届いた確定
申告用の寄付金領収証をレターBOXに配付。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会

中山委員

川村壽文会員

当クラブ囲碁の会の正月例会が下野新聞に取材され、我々会員の棋譜が掲載されています！会員の皆様も囲碁に関心がある方は、毎日曜日イタヤにて対局していますので、ご参加ください。

◇親睦委員会

中村委員長

<誕生祝い・2月>

会員誕生

飯泉 修一、川村 壽文、荻原 耕三、
田嶋 宏章、床井 光雄、辻 善文、
若井 勲

各会員

夫人誕生

富貴塚眞人、船田 元、郡司 公生、
片山 幸志、駒場 洋助、大木八千雄、
佐々木 正、若井 勲、渡邊 和裕

各会員の奥様



卓話

「市政について」



宇都宮市長 佐藤栄一様（名誉会員）

皆様、こんにちは。本日は市政についてお話しさせていただきます。これはいいな、と思った宇都宮の素晴らしいところを、是非とも、栃木県外の方にPRしていただければと思います。

ーパワーポイントにて説明ー

宇都宮の課題

- ・日本は食料もエネルギーの自給率も低い

早く自前で生きていく手段を考えていかないと、これからの世代が大変苦勞する、ということになります。

- ・人口減少

日本の出生数は年々減少し、2024年には70万人を割りました。2060年には日本の人口は1億人を切る見込みです。宇都宮の人口も、2017年の52万人がピークで、このまま何もしなければ、2050年には42万人になります。これを、あらゆる政策で、47万人にとどめるということが、宇都宮の人口戦略です。

宇都宮市では、

1. 出生数を増やす施策
2. 移住者を増やす施策
3. コンパクトなまちづくり

「ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）」を進めてまいります。その先にあるのは、ネットワーク型コンパクトシティを土台とした「スーパースマートシティ」です。土台の上には3つの大きな柱があります。「地域共生社会」「地域経済循環社会」「脱炭素社会」、この3つの柱をもとに、デジタルや人の力によって、少ない人口でも支えることができる、発展できる、そして税収が安定して行政サービスがどの都市にも負けない「スーパースマートシティ宇都宮」を目指してまいります。

LRTライトライン

- ・ライトライン沿線

地価が前年比で商業地が約6%、宅地が約11%上がっています。また、1年間で「交流する機会が増える」「40歳以上の一日の平均歩数が349歩増え、医療費の削減」「外出の機会が増え、健康寿命の延伸に繋がる」等、様々な効果が検証されています。

- ・ライトラインの利用者

平日1万5千人～1万8千人、土日祝日は1万人です。利用者数は、今月中頃には、700万人を突破することになります。

- ・LRTへの視察

まだ2年経っていませんが、視察件数が561件、延べ1万人で、アジアやヨーロッパ等、海外からの視察も49か国あります。ライトラインの電力が、茂原のごみ焼却施設での家庭ごみの焼却等、再生可能エネルギー100%で走る世界で初めてのLRT、ということで興味を持っています。また、都心部を中心にこういう街を作っていこうという、まちづくりの一環として、多くの方々に来ていただいています。いろいろな賞もいただきました。

LRT西側延伸

JR宇都宮駅を起点として教育会館付近までの約5kmを、2030年を目標として開通したいと思っています。その後、第2段階として大谷までを考えています。今年には、国への許可申請を出して、許可が出れば、工事・着工ということになります。停留所は12か所。JR宇都宮駅から裁判所までは片側1車線になります。この渋滞対策として、都心環状線の完成（現在は材木町通りから小幡・清住を抜けて亀の甲坂までが未完成）、つぶした1車線にバス停や運送会社の荷下ろしが出来るスポットを確保する、右折専用レーンを設置する等があります。

J R宇都宮駅周辺の再開発

イメージ図の説明

1階部分は広場を作ったり、また、タクシー、バス、一般乗用車の乗降を明確に分けて、それぞれの車両が交差しないようにします。2階部分はペDESTリアンデッキだけでなく、そこにLRTが入ってきます。駅西側を大々的に改造していきたいと考えています。LRTによって外から大きな資本が入り、そして、一緒に開発していただく。これからJ R宇都宮駅から桜通りまでの再開発が活発になり、西側も大きく生まれ変わる、そういう時代になります。

－ 西側ライトライン整備イメージVR鑑賞 －

アークタウン宇都宮

駅東側の平石停留場前に東部総合公園、愛称「アークタウン宇都宮」が開園します。芝生広場、多目的広場（屋根付）、スケートパーク（屋根付）、BMXパーク、レストラン・カフェなどがあります。来年の3月に開業していきたいと思ひます。

－ アークタウン宇都宮イメージVR鑑賞 －

税収が上がって安定している、そのお金で新たな行政サービスを増やすことができる、こういう街を作っていきたいと思ひています。